

会 議 録

○会議名	第4回みよし市男女共同参画プラン審議会
○日時	平成25年11月14日(木) 午前10時から午前11時30分
○場所	市役所3階301会議室
○出席者	委員(出席) 会長：小田佳子(東海学園大学スポーツ健康科学部准教授) 久野ひとみ(JA あいち豊田女性部三好支部支部長) 稲月かよ子(みよし市社会教育委員会副委員長) 木戸早苗(みよし商工会女性部長) 野崎又嗣(みよし市民生児童委員協議会副会長) 宮代カレン(在住外国人代表)、荒木理佳(公募委員) 岸野佳江(公募委員) (欠席) 副会長：花井伸(みよし市小中学校校長会代表) 正道克美(みよし市区長会副会長) 事務局 加納協働部長、天野協働部次長、佐伯協働専門監兼協働推進課長、 森永協働推進課副主幹、城協働推進課主任主査、尾関女性活動推進員
○会議公開の可否	公開 / 傍聴人数 0人

1 あいさつ

天野次長

みなさんお揃いですので、只今より「第4回みよし市男女共同参画プラン審議会」を始めます。

【一同起立、礼、着席】

本日は、お忙しい中、お集りいただきましてありがとうございます。

本日の会議はみよし市附属機関の設置及び運営に関する要綱第6条に基づき、会議の全部を公開としておりますので、予めご了承ください。

本日の傍聴者は、いらっしゃいません。

なお、花井副会長と正道委員は、都合により欠席のご連絡をいただいておりますのでご了承ください。

それでは、早速始めさせていただきます。

これからの進行につきましては、審議会設置要綱第5条に基づき、小田会長にお願いいたします。

2 議題

(1) 新プラン原稿案について

小田会長

これまで、みよし市男女共同参画プラン「パートナー」を改訂するにあたり審議してきました。その新プラン原稿案を本日見ていただくということで、お手元に資料があると思います。大変大きなものですので、目次の第1～2章、第3～4章、第5～6章と3分割にして順次進めていきたいと思います。よろしくお願いいたします。

それでは、議題1「新プラン原稿案について」、事務局より説明をお願いします。

城主任主査

【第1～2章について説明】

小田会長

只今の第1～2章の説明について、ご質問やご意見があればお願いします。

宮代委員

例えばDVの防止についてなど、後で成果を表すのでしょうか。政策を入れたからそれでいいですという感じなのですか。

城主任主査

5年間の推進期間がありますので、成果については見直しをする際に今回取ったようなアンケートを取り、DVの被害状況を比較できるようにする方向で考えています。

宮代委員

DVだけではなく、他の所も同じくプランを入れたことによって進化があったかどうかは、主にアンケートの結果によって判断していくということですか。

城主任主査

そうです。

小田会長

基本的には、同じ様にまた新たに新しいものを作る時に、もう一度結果を見ながらという形になります。

岸野委員

第1章で、先程、「内閣府の策定」という説明がありましたが、資料にはその言葉が何も無いようなので、内閣府の資料参考とか出典という記載があった方が、みよし市独自で考えている訳ではないということが分かっていいと思います。

小田会長

そうですね。例えば、4ページの基本理念の中に「男女共同参画社会基本法の基本理念を尊重しながら」こういうものを作りましたと書かれています。市民のみなさんが見られた時に、あまり出典、出典と仰々しく書かれていると従うしかないという感じもします。

岸野委員

少しあると、国全体としての計画的な考えがあるということが分かっていたのではないかと思います。

小田会長

そうですね。2ページの下辺りのどこかに、(内閣府〇〇資料より)などと入れるといいかもしれません。

野崎委員

10年前にパートナーを策定し、5年前に見直しした改訂版ですので今回は改改訂となると思いますが、以前の改訂版とこれとの違いは何ですかと聞かれた時にどう答えますか。年度を新たにして改訂版を改訂するという意味でいいですか。

小田会長

今回のプランは改訂版の次に出るので、改改訂版になるのかということですね。今回のプランは、表紙に「2014～2018」と年代が書かれています。前回のものは2013までとは書いていないので、初めて作ったものの、次に第2弾、第3弾という流れが分かるようにということですね。

佐伯専門監

改訂版を残していくと改改訂、改改改訂版と続いていってしまうので、ここは計画期間の年度に変えていった方がいいだろうということで、そうすると前の計画があり、次の計画が分かると思います。

小田会長

載せるのであれば、第1版があり、改訂版が第2版としてあって、今

回が第3版という項目を残せば元に戻れるので、みなさんが見て、1回2回が出ていてこれが3回目ということがわかると思います。

宮代委員
小田委員
宮代委員
岸野委員

これはずっと続けていくのですか。

もし、第何版とあれば分かりやすいですね。

年代があると一番分かりやすいのではないですか。

もちろん年代があった方が分かりやすいと思いますが、前からの続きと考えると、3回目のプランなので第3版と書いていただいた方がいいと思います。

小田会長
野崎委員

第3版で2014～2018までという書き方がいいということですね。

今回第3版と書くと、1、2版はということになるので、後ろに履歴を書いた方がいい。

久野委員
小田会長

何気なくの方がいいと思います。

ありがとうございます。その他よろしいでしょうか。それでは、第3、4章について説明をお願いします。

城主任主査

【第3～4章について説明】

内容についての詳細な説明は省かせていただきますが、こういう流れで原稿ができる予定ということをご確認いただき、ご意見があればいただきたいと思います。

またもうひとつ、用語の説明の記載につきましてご意見をいただきたいと思います。例えば14ページの下に「固定的性別役割分担」の用語説明が書かれていますが、今の書き方は、その用語が出てきたページの下に用語の解説を載せています。あるいは、男女共同参画に関する用語解説をまとめたページを設け、用語が出てきたところに何ページ参照としてそのページに導くといった方法も考えられます。どちらが見やすいでしょうか。

小田会長

では、まず用語の説明について、難しいことばが出てきた時にそのまま見られるようにした方がいいか、すべて後ろに集めた方がいいか、具体的なご意見をお願いします。

野崎委員

用語はたくさんありますか。少なければ、今の書き方の方が見やすいと思います。

小田会長

今の様子ですと、2～3ページに一か所程度あるかないかですので、それ程多くはないと思います。

野崎委員

何ページ参照といってページを捲るより、この方が見やすいと思います。

稲月委員

そう思います。

宮代委員

そのページにあって見易いと思います。

小田会長

では、満場一致でそのままの形にします。

それでは、第3～4章についてご意見をお願いします。

宮代委員

5～11ページまで全部統計的なことを載せていますが、このようなプランに入れるには、それが意味のあることなのかどうか何らかの形で評価

する必要があります。先程アンケートの話がありましたが、正直言って興味のある人しかアンケートに回答しないので、あまり正確な評価ではないのではないかと思います。例えば、給料はどうなってきたのか、市の議会に何%の女性が参加しているのかなど、もう少し冷静に女性の地位が変わってきたかどうかを見た方が、プランの効果が出ているかどうか分かるのではないのでしょうか。このような統計はずっと続けて見ていってプランの効果があったかどうか分かるのだと思いますが、続けて見て行くつもりですか。

小田会長

今のご質問ですが、改訂する結果の方向性を見るというか、プランを立ててそのように推進していくとしたが、本当にそれがなされているかという結果が、今のようなアンケートの形では分らないのではないかと、これまでは、アンケートを市民のみなさんにお送りして、興味がある方が回答してくださっていますが、年齢層が高いお家にいる方が多くデータとしては意味がないのではないかと、それで良かったとか良くなかったというのはいかなるものかということです。議員の数や職業についての実数のデータを客観的に対比するものと、こちらが聞きたいことを聞く時に今と同じようなアンケート形態では、実際問題結果が見えないのではないかとご意見です。これからパブリックコメントを出すので、何かあれば言われる人は言われるがそれは一握りであろうし、各家庭にランダムに送って答えていただく方法でよいのでしょうか。みなさんはそれぞれの部署から代表して出てきてくださっているのです、例えば、みなさんが所属している職場、団体、サークルでお願いしていただいて、同じアンケートを取り意見を吸い取ることができればどうでしょうか。

宮代委員

それもそうですし、7ページの「女性の参画状況」にあるように、できるだけ決まった統計をずっと取り、例えば給料はどのくらい変わってきたか、議会議員は女性が何%参加しているか、どこにポイントが置くのがいいのかはよく分かりませんが、長年ですっと取っていくと傾向が見え、それが大事だと思います。

佐伯専門監

同じデータですっと比較していくと、実際にこれを進めていってどの程度変わったかが分かるということですね。

宮代委員

アンケートを取ってみなさんの意見を聞くのも大事だと思いますが、正直言って一部の人しか返事をしない、特にDVについてなど一番助けてあげたい人がアンケートには回答しないと思うので、完璧なものはありませんが、もう少し幅広く統計を取れるようにした方がいいと思います。

佐伯専門監

アンケートはアンケートで進めていきたいと思いますが、それ以外のデータということで4つの各所で統計は取っていますが、どうしてもこういった専門的な統計になると、市独自で取っている統計が非常に少ないので、今ある各種の統計の中で、男女共同参画として使えそうなもの、みよし市としての市内の状況が掴めそうなものを調べ、継続的に数字で

表せるように考えます。

小田会長 5 ページや 7 ページのように、〇〇から出したものとみよし市との比較といった形にさせていただくと、見たい人は見ることができると思います。

久野委員 プランの簡単なものを各施設に置いて普及させるといいと思います。また、市に出入りしている人はいろいろな人がいて活動内容はそれぞれ違うので、例えばボランティア協会などにアンケートを取れば、いろいろな意見を聞くことにもなります。そういった所に積極的に資料を提供してアンケートを取ることもいいと思います。それぞれ意見をまとめるのは大変ですが、いろいろな人の意見が分かるし繋げていけば全くやらないよりいいと思います。

小田会長 ダイジェスト版も作るということですので、推進する何かの機会に配布するとか、講演会があった時などに、講演を聞くだけでなく、来てくださった方々に同じアンケートに答えてもらうのもいいと思います。

数値データやグラフだけが載っているのではなく、上部に明確に説明が書いてあるので、確認しやすいです。

用語の部分以外で、説明がないと分からない所はありますか。

佐伯専門監 用語の意味はそれぞれ出てきたページに載せるということでしたが、例えば 14 ページ 4 行目に「固定的性別役割分担」という用語があり、説明がページ下に入れてありますが、出てきた段落の後ろに入れた方がいいでしょうか。

宮代委員 *印があって分かるので、ページの最後でいいと思います。

小田会長 各ページで 2 つある場合は、** とするか、通しで *1、*2 とするかどちらがいいでしょうか。

宮代委員 各ページ 3 つ 4 つあれば連番を付ける必要がありますが、1 つ 2 つ程度なのでこれでいいのではないのでしょうか。

小田会長 では、このままの表示にしましょう。

宮代委員 DV は英語ですが、日本語は何ですか。「家庭内暴力」は使わないのですか。意味が違うのでしょうか。

城主任主査 元々「家庭内暴力」は、子どもが親に振るう暴力というイメージがあり、「家庭内暴力」より「DV」ということばの方が、恋人や夫からの暴力という認識があるように思います。

宮代委員 私は、DV と聞くとすぐ分かりますが、年配の方とかは分りますか。

小田会長 おそらく、日本人みんな「家庭内暴力」というと家庭と暴力が合わさって家庭に限定されてしまい、その他の事は含まないことになってしまいます。しかし、ドメスティック・バイオレンス、DV という Domestic ということばが英語で何を意味しているかは関係なく、バイオレンスというカタカナにして、曖昧だけどその他を全部含む、自分達で都合よく解釈することばになっているようです。

宮代委員 全く同じ意味ですが、日本では意味が違うということですね。わざわざ英語のカタカナを使って、難しく聞こえるようにすることはよくあり

ます。

小田会長 「ここではこういうことを意味しています」と入れた方がいいでしょうか。

宮代委員 家庭内暴力の定義を書けば同じですが、一般的な意味の方がいいでしょう。

佐伯専門監 日本人だと直接的なドメスティック バイオレンスの意味というより、マスコミなどで広く一般的に使われているイメージがあります。

宮代委員 DVの家庭内暴力以外の部分は何ですか。

小田会長 同じ家族の中にいない恋人やその他の人からの暴力もDVには含まれるが、家庭内暴力には含まれないというようなことです。

宮代委員 とても不思議に思います。日本語だと違う意味になるようです。英語の Domestic Violence は、どっちかというと今言う家庭内暴力です。

岸野委員 DVと家庭内暴力とはイメージが違います。

小田会長 元々家庭内暴力ということばはよく使っていましたが、ある時からそれだけではないので、DVということばを使えば便利だということだったのかもしれませんが。

宮代委員 10 年くらい前は、家庭内暴力は子どもと親という感じでしたが、DVは子どもと親だけではなくて夫婦とかいろいろ含むためにDV変えたかもしれないが、もっと幅が広がって英語でも意味のない所までこのようになりました。

岸野委員 日本語的解釈ですね。

宮代委員 英語ではなく日本語ですね。

小田会長 3～4 章についてはよろしいでしょうか。では、5～6 章に移ります。

城主任主査 **【第 5～6 章について説明】**

野崎委員 53 ページ以降と 36 ページの表に、項目が入っていないので、入れた方が見やすいと思います。

小田会長 ではここを直していただくようお願いします。

入れるか入れないはご検討していただければと思いますが、2012 年に開催したロンドンオリンピックは、初めてすべての競技に男女ともが参加したオリンピックでした。

宮代委員 法律を入れる目的は何ですか。

城主任主査 例えば第 2 章に「男女共同参画基本法」と法律が出てくるので、興味がある方は見ていただけるように入れてあります。

宮代委員 配偶者とは、結婚している相手のみを言うのですか。内縁の関係は入るのですか。

佐伯専門監 婚姻の届けはしていないが、事実上の婚姻関係を含むということで、42 ページの 3 に書いてあります。

荒木委員 せっかく法律が挙げてあるので、何ページ参照と分かるようにしてあるといいと思います。

岸野委員 3 ページには法律が「 」で書かれていますが、4 ページには「 」が

ないようですので、「 」を入れて、最初に注釈を入れるとよいと思います。

小田会長 パートナーについての経過が、〇～〇年に改訂版出版というように書かれていると、どのように改訂してきた形が分かっていいかもしれません。あるいは、35 ページに策定経過があるので、以前の改訂について記載があってもあまり堅苦しくなくていいのかもしれない。

佐伯専門監 パートナー改訂については、3 ページの 5 行目から記載させていただいていますが、こういった年表みたいなのところにもあるといいかもしれません。

野崎委員 3 ページの 9 行目の「みよし男女共同参画プラン『パートナー』」の所には改訂版がいるのではないですか。

小田会長 そこには「改訂版」が要ります。

宮代委員 3 ページを見ても、どれが改訂版なのか、それを知らない人は年代を書かないと分からないのではないですか。私なら混乱します。改訂版と書くより（年代）を書く方がいいと思います。

加納協働部長 ここに表を入れた方が見てすぐ分かるでしょうか。

小田会長 もしくは、例えば 35 ページの上に、15～19 年版、20～25 年版とそして今回というように記載して、参考として 35 ページ参照というような形にするといいかもしれません。

その他、全体を見ながらここここは関連する、一致しないなどのご意見はありますか。

荒木委員 細かいことですが、時系列の表を作るということでしたらパートナーは西暦で書いてあるので、西暦に合わせた方が分かりやすいと思います。

佐伯専門監 いちばん最後の年表のように、両方書いてあった方が分かりやすいでしょうか。

小田会長 両方書いてあった方が分かりやすいように思います。

佐伯専門監 いったんどういう計画を作ったかが出てはいます。例えば、パートナーを作る前にも計画があり、54 ページの 3 段目に三好町女性行動計画「シンフォニー」策定から始まり、55 ページ上の 2002 年に「男女共同参画計画」策定に向けて動き出し、その次の年に最初の「パートナー」を策定したという経緯が出ています。そのプランの流れだけを抜き出して、35 ページに加えるという形でいいでしょうか。

宮代委員 中身をとっても分かっている人ならいいですが、これを初めて見る人の身になって作った方がいいと思います。

佐伯専門監 今回のパートナーの経緯については非常に細かく書いてありますが、以前のものは簡単に何年にとタイトルだけが出てくるので、バランス的にどうかと気になりました。もし、前のページに今までの計画のことを少し入れて、今回みなさんに検討していただいた内容は内容で載せておきたいのでそれを残す形にしたいと思います。

岸野委員 35、36 ページが、いちばん最後ではだめでしょうか。流れが年表のよ

うに書いてあるのが 52 から 56 ページですが、35、36 ページだけ年表が入っていて、次に法律がきてまた年表のような形になるので違和感があります。

佐伯専門監 実は 35 ページ以降は資料という形で作っており、35、36 ページについては、34 ページ以前がどうやって作られたかを表したくてこのようになっています。確かに資料として分らなくてはいけないので、章が分かれてしまいます。

岸野委員 内容的には、第 5 章に付けた方が正しいという見解ですか。

佐伯専門監 第 5 章はあくまでも目標になります。

岸野委員 これを入れてしまつては、目標とは関係ないものが入ってしまうことになりますか。

佐伯専門監 第 6 章だけ見ると、どうしてこれが最初に来るのかと思われるかもしれませんが、みなさんのご意見が、一番後ろの方がいいのであればそのように考えます。

岸野委員 5 章の最後に入れると目標になるので、それを立てた経過については資料としての扱いではないかということで、第 6 章に入っているということですね。

宮代委員 それは分りました。

佐伯専門監 資料の最後に入れた方が分かりやすいということでしたら、そのようにします。

野崎委員 一つ案ですが、年表を初めにして策定経過を入れ、最後に法律を入れてはどうですか。

小田会長 これまでの参画策定に関する年表は一番前に入れておいて、このパートナーの最後のまとめとして策定計画を間に入れて法律をいちばん最後にするということですね。

野崎委員 予定の時間があり、申し訳ありません。最終の仕上りのカラー印刷について、この内閣府の資料の色彩が好きなので、このようにしていただけたらいいと思います。

佐伯専門監 印刷についてはこれから決めますが、こちらの内閣府の資料は多色刷りなので、同じようにするには費用がかかり厳しいです。

宮代委員 今のコピー機は、白黒でもカラーでも料金は同じですが、これは違うのでしょうか。

佐伯専門監 印刷業者に出しますので、2 色使うか 3 色使うかでかなり金額が違ってきます。

小田会長 それでは、案として後ろの資料を見直すということでもいいでしょうか。
では、パートナー 2014～2018 版につきましては、以上でよろしいですか。

野崎委員・稲月委員 <都合により退席>

(2) パブリックコメントについて

小田会長 それでは、議題 2「パブリックコメントについて」、事務局より説明をお願いします。

城主任主査 【説明】

 ・パブリックコメント：広報 1 月 15 日号に掲載予定
 2 ページから 4 ページまでに収めたい。

 ・前回の平成 21 年に掲載したパブリックコメントについて
 3 人の方から 23 件のご意見が寄せられた。
 (内 21 件は、毎回傍聴されていた 1 人の方からのご意見)

宮代委員 前は 3 人ですか。では、今回もあまり意見は寄せられないかもしれないので他の方法はないでしょうか。

荒木委員 何人の意見があったか疑問でしたが、3 人となるとパブリックコメントの意味がなくはないがあまり成果がないので、せっかくこれをやるならもう少しやり方を考えた方がいいと思います。

宮代委員 例えば、市役所に来た人達に、待ち合いの間にこれを見てもらって、何かコメントありませんかと聞いてみるのはどうでしょうか。

佐伯専門監 そこにあることを知っている人は少ないかもしれませんが、市役所の 1 階の情報プラザに置きます。

宮代委員 難しいですね。

木戸委員 待ち時間に見られるようなものではないし、用があって来られている人に意見を求めても難しいと思います。

宮代委員 ですから、積極的に、「こういうものがありますからと見ていただいて是非コメントをお願いします」ということをしないといけない。他にいい案が浮かばないのですが、3 人だけでは寂しいと思います。

荒木委員 アンケートを取っても、子育て中のような若い人の意見が少ないです。私は、書くことが好きなので子育て中でも回答しましたが、書くことが嫌いな人は出さないと思います。片寄ってはいけないかもしれませんが、例えば保育園には子育て中の人がたくさんいるので、送迎の時に資料を渡してもらって、強制でなくていいので意見を書いてもらうなどを考えた方が、3 人よりは集まりやすいと思います。

宮代委員 そうですね。新たな 1 人だけでも意見をもらえますね。

佐伯専門監 特定の人を対象にしたものではなく、みなさんから意見をいただきたいので、市としては、広報やインターネットが一番広くみなさんに知ってもらう方法だと考え、他の市の関連場所や庁舎でも見られるように置いており、庁舎内のどこに何を掲示して何を置くかは細かく決められています。パブリックコメントは、他のいろいろな計画や条例などを作る際にも年に何回も掲載しています。

宮代委員 もちろん、その通りだと思います。では、他のパブリックコメントに関する意見も 3 人ぐらいですか。

佐伯専門監 市の条例などは、正直言いますとほとんど意見が来ない状況です。

木戸委員 見たことがないです。今初めて聞きました。

佐伯専門監 大抵の人は、法律には全く興味がないからだと思います。

宮代委員 パブリックコメントを求めていることも知らなかったです。知らなかったということは、あまりPRされていないということではないですか。

佐伯専門監 広報には出しています。

加納協働部長 パブリックコメントのやり方自体、まずパブリックコメントをしますということを広報に載せる、インターネットで見られるようにする、情報プラザに掲載するという方法しか取っていません。あくまでも広報で見ていただいて、内容を確認していただくという方法です。

宮代委員 問題を提示するのは簡単ですが、ではどうすればいいですかと言われるとなかなか難しいです。

佐伯専門監 新聞のように誰もが必ず見るものに掲載するのが一番いいのかもしれませんが、みよし市だけではなくてしまうので、市内にお知らせできるものは広報になります。広報は、当然市の情報が全部載っていますし、最近はインターネットも発達しているので、市のウェブサイトにも載せるという方法を取っています。

宮代委員 何か用がなければ市のウェブサイトは見ないです。

佐伯専門監 実際そうです。広報でも、自分に興味のある記事でもない限りは目次をみて終わりにしていまいます。

宮代委員 結構たくさんあるので、全部は見ないです。

木戸委員 偏っているかもしれませんが、ひまわりテレビのみよし版があるので、その中で「パブリックコメントをやっています」と言っていたのはどうですか。ただ、パブリックコメントが何かが分からないかもしれません。

佐伯専門監 「こういうものについて、みなさんからのご意見を求めています。詳しい事は広報などを見てください。」というような形にすればいいかもしれません。

宮代委員 最初に一番大きく、「あなたの意見が大事です。お願いします。」と書いてその後で内容を知らせる、まず意見を求めていることをPRすることが必要です。それには、保育園や市役所関係の所にチラシのようなものを置いたりするのはどうですか。

木戸委員 ひまわりテレビで、パブリックコメントの意見を募集している期間に集中的に何度も流してもらいたいと思います。司会者に「ご意見お願いします」と言って電子メールのアドレスを出してもらおうとか、みよし市の担当者が宣伝するというのはどうですか。

宮代委員 興味を引く必要があるので、「あなたの声を聞かせてください」と言うてから何についてとお知らせする方法がいいと思います。

木戸委員 あとは、意見を募集していることをいろいろな形でPRしてみなさんに知らしめることがいちばん大切だと思います。そうでないとインターネットも見ないだろうし、広報や回覧板やホームページ、ひまわりテレビなどいろいろな方法で知らせるのがいいと思います。

- 久野委員 市役所の待ち合いのところの電光掲示板で、募集期間だけ「男女共同参画のプランについて意見をどうぞ」という案内を出すのはどうですか。
- 岸野委員 待ち合いの間にどうぞというのはいいかもしれません。用があつてすぐ帰ってしまうところは向かないので、市民課がいいでしょうか。
- 城主任主査 いろいろご意見をいただいて、検討の余地があるように思いましたが、事務局としての私の考えは、毎回審議会でみなさんからたくさんのいいご意見をいただいて考えてきましたので、内容についてはかなりいいものができていると思います。それについて、広く市民の方から意見をいただくことも必要ですが、できれば完成してからのPR、出来上ってから、こういったものがあるのでみなさん男女共同参画について考えてくださいといったPRの方にさらに力を入れていけたらと思います。
- 宮代委員
佐伯専門監 パブリックコメントを取る理由と目的は何ですか。
- 市が新しいことをする場合や、市民全体に関わるような計画などを作る場合にはより多くの人の意見を聞きます。基本的には、城がお話したように、それぞれの団体やいろいろな立場での代表で来ていただいたみなさんに、市民の代表として案を作っていただきました。普通はそこまでいいのですが、それ以外の方にも見ていただいてより多くの市民の声を聞きたいというのが目的です。昔は、委員会で決定していただいたものを、そのまま形にして市民のみなさんに公表していましたが、その間にワンクッション置いて意見を取り入れましょうということで、いわゆる市民との協働、共に作っていくというという部分でパブリックコメントをしています。
- 宮代委員
佐伯専門監 そのもらったコメントはどうするのですか。
- 意見どおりにできるのか、あるいはこういう理由でご意見には沿えないかを担当部署で検討し、市の考えとして公表させていただきます。また、パブリックコメントが終わった後この審議会にお集りいただいて、パブリックコメントで意見があれば、そのことについて市の考えを出して、この場でもう一度協議していただくという形になります。市民のみなさんにいただいたご意見に対して、市はこう考えていますというものを発表させていただきます。
- 小田会長 パブリックコメント制度で、私たちがここで新たに改訂しようと審議してきたことに対して、市民のみなさんにお伺いをしますが、一部の方の意見でそれを変えるのはどうなのでしょう。みなさんに知ってもらうことはとても大事だと思います。プランができて、こういう形で5年後に理想の目標値に届くようみんなで努力していきましようという啓蒙する、いろんな所にどんどん出していく必要があります。今回のパブリックコメントは、私たちが出そうとしているプランに対して、もう一度、別の視点から考え気づいていただけませんかということです。今回は、広報にこれを丸ごと出す訳にはいかないので、私たちが真剣に考えてきたものを、少しでも興味がある方にもっと専門的に考えていただくことが目

的です。ここで全部知っていただくのではなくて、ホームページなどにアクセスしていただいて、全部気になる箇所をチェックした上で、もっとこした方がいいというご意見がある方はお願いします、という形でどうでしょうかということです。そして、もう少しPRする可能性があれば、ひまわりテレビや回覧板で、前にご意見いただいたアンケートが、こういう形になろうとしていますがいかがでしょうかというところで、興味のある方にご意見をいただくという形になります。

宮代委員
久野委員

そうならば、こんなに広報に出さなくてもいいのではないですか。

こんなに広報に出さなくてもいいと思います。量が多いと引いてしまうので、意見があれば問い合わせのところまでどうぞという方がいいと思います。

佐伯専門監
小田会長

今回は、できるだけ新しくなったところだけを掲載します。

これが原案ですので、見開き 2 ページぐらいにするか、あるいは内容にもう少し手を入れると 3 から 4 ページになりますがどうでしょうか。

岸野委員
久野委員
小田会長
佐伯専門監

できれば、見開きで終わった方がいいと思います。

その方がいいと思います。

この原案をできれば 2 ページぐらいにする方向性でいいですか。

広報で見開き 2 ページにしようと思うと、実際にこの原稿で 1 ページ半ぐらいにする必要があります。

小田会長
宮代委員

そうすると、どこを削るかということになりますね。

「全部はどどこを見てください」と書くのであれば、興味がある人は、詳しく書かなくてもそこを見ると思います。今の話を聞くと、もちろんパブリックコメントは欲しいですが、もう一つの大きな目的は、啓発というかこのプランの宣伝ということですので、広報は 2 ページぐらいにしてもらった方がより読む人が多くなると思います。しかし、そうすると何が書いてあるか分らなくなるかもしれないので難しいですね。

小田会長

では、その辺は事務局にお任せして、1 月 15 日号の広報を見て、身近な方にパブリックコメントはないか聞いていただくなどをお願いします。次の審議会で、どのような意見が出てきたのか、意見が少なければ少ないで、また啓発に力を入れましょうということでもよろしいでしょうか。

木戸委員
小田会長

文句が言いたい人だけ何かを言ってきますね。

パブリックコメントについては、よろしいでしょうか。

それでは、以上で予定されている議事はすべて終了いたしました。慎重なるご審議ありがとうございました。いただきましたご意見は、プランの見直し、またパブリックコメントの募集にも反映していただきますように事務局をお願いいたします。

これを持ちまして本日の議事を終了いたします。

それでは、事務局から連絡事項等がありましたらお願いします。

3 その他

天野次長

どうもありがとうございました。

次回の審議会は、先程お話いたしましたように、パブリックコメントの募集期間終了後にまとめまして、2月の下旬頃を予定しています。詳細につきましては、改めて文書で開催通知をお送りいたしますのでよろしくお願いいたします。

城主任主査

今年度の男女共同参画川柳の優秀作品を掲載したクリアファイルをお手元に配布させていただきましたのでご活用ください。これは主に中学3年生に配布しますので、中学生に男女共同参画について考えていただけたらと思い、本年度は優秀作品の裏側に関連したデータ入れましたのでまたご覧ください。

それから、先程宮代委員からタイム誌に掲載されているスウェーデンのおもしろいデータをいただきましたので、次回の審議会で提示できればと思います。

天野次長

それでは、一同ご起立ください。

【一同起立、礼】

ありがとうございました。